

甲南Today

甲友のリレーションで、

未来を紡ぐ

No.15
2003 September

甲南Today No.15

2003年9月25日発行 「発行」甲南学園広報部 〒658-8501 神戸市東灘区岡本3丁目9-1 TEL 078 431 434(代)



Network Konan
つながる! 甲南ネットワーク

特集

オンリーワンへの挑戦

研究室
訪問

超短期から、超長期におよぶ経済予測の研究について

経済の動向は、どのように予測されているのか?

甲南を使いこなそう!
甲南キャンパスガイド

テクノロジーを集結した語学教育の
新ステーションが6号館に誕生!



インターネットで甲南へ
<http://www.konan-u.ac.jp>

鳩杖



「恩賜の杖」(鳩杖とはづえ)

鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生貞三先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫教授に当時の様子を書き下ろしていただいています。



男子校だった甲南にも少女たちがいた/事務室に実験室に図書館に/立ち寄るたびに顔を覚え親しみができる/高等科の先輩たちはマントを翻して尋常科には神々だったが/時には神サマも恋愛をする/テニスが縁で実験室の少女と結婚した先輩は/今も幸福な力ツプルでおられるとか/今は学会の大立物の失恋話も聞いた/尋常科にはオネエサマ/あちらからはかわいい?坊やだった/図書館のアツチマンは色白のきれいな人/前髪をおでこに垂らし/愛嬌よして誰にも親切/九鬼文庫もそとのぞかしてくれ/見つくるいで新刊書を書店が運び込むと見せてくれた/オウエルの「一九八四年」もそつと読んで/英国の造船家の日本軍艦批判記事も覚えている/戦争がなければ造船家になりたかつた私だからだ/このYさんはずっと甲南に勤めとおしたが/私が甲南に戻った時には世を去っておられた/私は寂寥を覚えた/一度再会してお世話になつたお礼を言っておきたかつた



1942年卒業アルバムより

鳩杖に対するご意見ご感想をいただきましたのでご紹介いたします。毎回、私の甲南在学中の思い出に触れられる内容で、懐かしく読ませてもらっています。(50年卒・男)

中井久夫教授



文学部教授・神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。精神医学の経験。全8巻他、著・翻訳書は多岐にわたる。



8月9日(土)、甲南大学体育会50周年記念式典が、神戸国際会館こくさいホールで開催されました。体育会は、大学が開設3周年を迎えた1953(昭和28)年に学友会運動部として発足しました。

式典は、まず、ビデオ上映で幕が開き、学友会としての結成時からスタートし、学習院大学との総合定期戦の開始、全国大会など主要な試合には必ず出場し、数々の優秀な成績を残す強豪選手が活躍した時代、阪神・淡路大震災、スボーツ推薦入試と、それぞれの時代の盛り上がりがあった体育会50年の歴史が映像を通して伝えられました。このビデオは記念実施委員会のメンバー

体育会50周年記念式典開催

〜甲南大学ここにあり〜

が、古いアルバムや記録を時間をかけて調べあげ、この日のために、自分たちでシナリオを書き、編集・作成したものです。

次に、西村繁治実施委員長(経営4年)からの「日本中に、甲南大学体育会ここにあり、と知らしめましょう」という頼もしい開会の辞に続き、吉沢英成学長、池上吉蔵理事、小林均学生部長、山崎俊輔保健体育研究室長、吉原功大同窓会会長、黄田漢祥父母の会会長、遠藤久夫学習院大学学生部長から祝辞が述べられました。

感謝状贈呈式では、これまでの栄誉を称え、同時に、現役生への支援に感謝の意を表してOB会・OG会に、また、スポーツを通して甲南の名を世に広めたOB・OGや現役生に感謝状が贈られました。



藤澤 光介体育会本部委員長

続いて、藤澤光介体育会本部委員長(経営3年)から、先輩たちに負けない強い体育会づくりを目指したいとの抱負が述べられた後、力強いエールが披露されました。

また、式典の参加者全員に、体育会50周年記念実施委員会が刊行した「50周年記念誌」が贈呈されました。式典終了後は、クラブごとOB・OG同窓会が催され、旧交を温めています。



産学連携体制の推進

8月8日(金)の日本経済新聞朝刊で、甲南大学が生命工学を中心とした強力な産学連携体制の構築に乗り出すことが記事として取り上げられました。本学では、今秋たんぱく質や核酸など生命分子の機能を解明し、医療・材料などへの応用研究を行う、先端生命工学研究所(FIBER)「(仮称)を設置し、生命分子化学が専門の杉本直己教授を中心に本学の教員10人内外がチームを作って研究に取り組み、また、この研究所の発足とともに、企業との共同研究など産学連携を積極的に推進いたします。

また、来年4月には、産学連携の推進と教員の研究支援を全学をあげて推進する組織として、甲南大学フロンティア研究推進機構(甲南FRONTIER)「(仮称)を発足させることを検討中です。



第39回摂津祭 培善晴実施委員長(経営3年)

第39回摂津祭

11月20日(木)から24日(月)まで、第39回摂津祭が開催されます。今年のテーマは「RESONANCE」(共鳴)。みんなで参加して大学祭を盛り上げようというコンセプトのもと、自治会摂津祭実施委員会のメンバーがスケジュールや企画内容を調整しています。体育会や文化会のクラブやサークルによる「演武祭」20日、「演劇祭」21日、「音楽祭」24日、「展示」での公演や成果発表、「模擬店」「ダンスパーティー」(21日)、「プロコンサート」(22日)、「ユートピアフェスティバル」(23日)など、今年も盛りだくさんのイベントが企画されています。なお、学術祭実施委員会は、もと多くの甲南生に参加してもらえよう、学生に人気の高い講師の講義を絞って講演の依頼交渉を進めています。内容の詳細は、決まり次第ホームページでお知らせしていきます。5日間、みんなに参加して、400人にも及ぶ実施委員会のスタッフと一緒に盛り上げましょう。

CONTENTS

WHAT'S NEW KONAN

- 2 体育会50周年記念式典開催
- 第39回摂津祭
- 産学連携体制の推進
- 3 2003年度教育懇談会開催
- 4 学生プロジェクト支援活動「甲南21クリエイティブ・プラン」

Network Konan つながる甲南ネットワーク

特集 オンリーワンへの挑戦

- Challenge 1 自分から発信していく
- Challenge 2 社会の中の自分を見つける
- Challenge 3 意志をつらぬく
- Challenge 4 自分の体験を伝えていく

研究室訪問

超短期から、超長期におよぶ経済予測の研究について

経済の動向は、どのように予測されているのか?

甲南を使いこなそう! 甲南キャンパスガイド
テクノロジーを集結した語学教育の新ステーションが6号館に誕生!

ハガキで寄せられた疑問を徹底調査 こちら甲南特捜部
社会のキーワードをわかりやすく教えてください

50th Anniversary 創立より、いまへ受け継ぐスピリッツ
クラブつながりレーション
体育会山岳部 文化会文学研究会

Pick up 高・中Topics
甲南3学園合同学習
3校の生徒・児童が協力し、自分たちでつくる体験学習

トウレーヌ甲南学園だより
クサナールの子どもたちに学校を!
アフリカの姉妹都市を生徒が支援

第一線で活躍中の卒業生にアクセス! IT'S KONAN STYLE
登山で培ったチャレンジ精神は
いまでも変わらず

20 甲南フォーラム



表紙の絵



西井義晃 画
「平生記念館・平生記念セミナーハウス」

西井義晃さんプロフィール
1961年 甲南大学経済学部卒業
元自由美術会員

2003年 個展の予定
10月27日~11月1日
銀座文藝春秋画廊個展

次のURLでも作品集をご覧いただけます
http://webgarou.net



Konan 21 Creative Plan

学生プロジェクト支援活動 「甲南 21クリエイティブ・プラン」

社会に貢献する、 3つの優れた企画を採択

「甲南21クリエイティブ・プラン」とは、21世紀の社会に貢献する学生の自主活動を大学が支援するプロジェクト。学生自身の手による学内外でのボランティア活動、「ミニミニ事業」、ベンチャー事業などのプランを広く公募し、優れたものに対して経済面などからバックアップします。

本年度応募があったのは9企画。そのうち、下記の3つのプランが採択され、教育懇談会が開催された6月28日(土)、それぞれを企画した学生たちのプレゼンテーションが行われました。ここでは採択を受けた3つのプランの内容をご紹介します。

21世紀に向けて発進した3つの学生プロジェクト

甲南大学発、高等学校理科におけるバイオテクノロジー教材の開発

自然科学研究科生物学専攻
1年次 平田礼生さん ほか

高校生にもっと身近に理科を感じ、興味・関心を持ってもらうことを目的に、いままでにない新たなバイオテクノロジー教材の開発に着手する。きっかけは一昨年。理工学部生物学科植物生理学研究室において植物細胞から細胞壁を取り除いて得られる球状の細胞、プロトプラストを簡単に単離し、短時間で細胞接着・融合が観察できる方法が開発され、全国的な話題を呼んだ。その結果、高等学校など多くの先生方から授業でやってみたいと声があがったが、一方では、実験・実習の経験に乏しいため、実際に行うには不安で躊躇してしまうという相談の声も多かった。

そこで今回、同研究室では、『プロトプラストの迅速単離法と接着・細胞融合の観察』を高校生物の時間内に行えるように必要なものをすべてキット化して、実験方法をわかりやすく編集したビデオとセットにして高等学校に配付することを計画している。

甲南大学における「持続可能な」循環型コミュニティの創造 ～環境ボランティア活動～

文学部 4年次 藤井孝明さん ほか

環境問題に取り組むプロジェクト。「甲南大学における循環型コミュニティの創造」というテーマでゴミ分別を推進した一昨年、「甲南大学における循環型コミュニティの創造とパートナーシップ」というテーマでパートナーシップを広げた昨年に引き続き、三年目となる今年は、活動の継続の大切さとさらなる発展を意識し、「持続可能な = sustainable」を新たにキーワードとした計画を進める。

実施プランは4つ。例えば、「自給自足生活の体験活動～循環型コミュニティの原型の体験～」と題して、広野野外施設でテントを張り、自給自足生活を体験したり、農作物作りを体験することで自然の恩恵や厳しさなどについて学ぶ。あるいは、「キャンパス内のボトムアップ型の環境活動」と題し、学内のゴミの4分別(燃えるゴミ/燃えないゴミ/缶・ビン/ペットボトル)をはじめとするリサイクルの促進や花や緑を植える緑化運動を行うなど。

学生ベンチャー向上サミット ～学生起業家間ネットワークの構築～

経営学部 3年次 東海林由子さん ほか

学生は会社を成功させる素質を備えており、時間も比較的自由的なのに、どうしてベンチャーで成功している事例が少ないのか。また、一昨年、学生ベンチャー企業「K.C.&co.」をはじめた起業家研究会では、ほかの学生ベンチャーの事業展開に興味を持っているが、交流を図る場が不足している。この2つを背景として、今年度、他大学でベンチャー研究に携わる学生グループと密に連携して情報交換を行う「学生ベンチャー向上サミット」の実現を目指す。

具体的な活動目的は、まず、調査分析により学生ベンチャーの今後の可能性を検討すること。そして調査分析結果を広く発信することでベンチャーに関心のある学生を集め、甲南大学を中心とした全国ネットで交流を深めていくこと。こうして学生同士の接点を設けることにより、お互いが問題解決の糸口を見つけやすくなり、ビジネスチャンスを発見できるようになるという効果が期待される。



参加したご父母は、実際のキャンパスの雰囲気を感じながら、さまざまな疑問、質問を投げかけ、充実した時間を送られたようです。

留学について、担当の教職員がご父母のさまざまな質問に答えました。このほか、「甲南21クリエイティブ・プラン」の表彰チャリティーイベントや空手道部など、学生課外活動の発表会、サイバーライブラリやマルチメディア教室など、大学施設の見学会などが行われました。

学修、就職、留学など、 父母のあらゆる疑問を解消

2003年度 教育懇談会開催

6月28日(土)、在学生のご父母に、本学の教育理念や学生のキャンパスライフに対する認識を深めていただくことを目的として、2003年度甲南大学教育懇談会を行いました。

はじめに、池上吉蔵理事長、吉沢英成学長が甲南大学の現状や将来展開について述べ、同時に、甲友会館や新6号館、ネットワークキャンパス東京、2004年度から開設される口ースクールなどを紹介しました。続いて講演会では、小林均学生部長が、「甲南大学における学生生活」と題し、本学生へのアンケートをもとにした意識調査の結果を報告。その後は、各学部に分かれ、学修や就職、学生生活、留学について、担当の教職員がご父母のさまざまな質問に答えました。



個別相談のブースでは、一人ひとりの疑問にお応えしました。とくに大学生生活の様子を知りたいという相談が多く寄せられたようです。

懇談会に参加されたご父母の声

子 どもへのサポートについて経営学部の先生に相談したところ、とてもわかりやすく、親の気持ちも汲みながら話していただき、大変参考になりました。アルバイトや留学のこと、単位の取り方など、いずれもとても具体的にアドバイスいただき、私自身、プレッシャーをかけすぎたかなあと反省する面もありましたね。今後はもっと広い目で見守っていくことができそうです。

学修相談が、とても具体的に参考になりました



好井さんご夫妻 経営学部 2年次

娘のお気に入りのキャンパスを、楽しく見学させていただきました



桜間さんご夫妻 経営学部 4年次

私 たちは今日初めて甲南大学に来たのですが、まず環境がよいのに驚きました。娘がこのキャンパスをとて気に入っている理由もうなずけますね。いつも利用していると聞いているおしゃれなカフェも実際に見てきました。また、理事長のお話を直接聞きできる機会なんて、あまりないじゃないですか。そういう場を開いてもらえるのも貴重だと思います。とても有意義な1日でした。

う ちの子どもは家を出て下宿しているのですが、大学で実際どんな生活を送っているのかよくわからないんですね。それが今回、こうしてキャンパスに来て、いろんな話をうかがい、ずいぶん具体的にイメージできるようになりました。とくに理工学部の実験って大変とよく聞けど、実際何をやるの?という疑問を持っていたのですが、それも詳しく説明していただき、安心して帰れます。

よくわからなかった子どもの生活がイメージできるように



谷さんご夫妻 理工学部 1年次

特集

オンリーワンへの挑戦

自分から積極的に他人と関わっていく生き方を見つける人、困難な目標を貫き通す意志を持つ人、仲間と協力しながら、一人ではできない取り組みを実現させていく人たち…。甲南生・卒業生の中には、他人との優劣を競うのではなく、あくまで自分を実現するために真剣に行動する人たちが大勢います。今回の特集では、そんな一人ひとりの中に息づく、甲南の気風をレポートしていきます。

かみこは、インターネット上の資料をまとめていきます。自分が見て、わかったこと、感じたことをほかの仲間伝えていく場が設けられているわけです。私は人前で話すのが苦手なので、「これはちょっと苦手だな」と思ったのですが、現場でいろいろな驚きを目の当たりにしてしまいましたが、それを伝えたいという熱意がありました。プレゼンテーションをなんとか成功させることができただけでなく、はじめて自分が学んだことをみんなに伝えていく面白さを味わうことができました。

「このほかにも、同じような例はたくさんあります。例えばEBA総合コースでは、英語が話せることは基本的な能力と位置づけられているので、1年生のときから「英語を学ぶ」授業だけでなく、経済学や経営学を「英語で学ぶ」授業が毎日設けられています。たとえば英会話の授業でも、ただ文法を知りたいというのではなく、「この英語で何を伝えたいのか」「この質問を投げかけられます。高校まで

はほとんどそういう授業を受けていませんから、最初は誰も意見が言えませんが、最近ではそんな授業にも慣れてきて、グループで意見を交換し合って英会話の練習をすることも当たり前になってきました。マーケティングを学ぶときも同じです。もし自分が経営者の立場ならどんな調査を行うか、それをどう分析し、どんな戦略を立てていくかというのをシミュレーションしながら学ぶので、いつかチャンスがあれば起業してみたいと思うようにもなりました。

身につけた積極性を武器にアメリカでの学びに挑む

もともと人と違うことをするのが好きで、志望校選びのとき、たまたま知ったエドワーズ大学EBA総合コースにひかれて甲南を受験しました。ほかの大学のどの学部に進んだ友だちと比べても学んでいる内容が広くて深いので、勉強する量もハンパありませんが、いまはこの選択をしたおかげで自分からどんどん行動していく面白さを知り、本気でやろうと思っています。

8月からはいよいよ海外学習がスタートします。アメリカの大学で講義を受けると言っても、経済や経営の専門的な内容について英語で学ぶのですから、最初は相当苦労すると思います。現地の学生にとっては当たり前なことでも、私にとっては一つひとつ学んでいかなければならないので、そのための勇気も必要になってくるでしょう。でも、きつめの留学を乗り越えたとき、いよいよずっと自分から動いていく力を備えているだろうと思うから、とにかく必死で頑張りたい。そんなふうに考えています。

EBAの1年半で知ったのは、自分から動く面白さ

EBA総合コース 2年次 柏井 崇志さん

EBAで1年半。気がつけば前より積極的な自分がいた

EBA総合コースで学びはじめて1年半。最近、少しずつ自分が変わってきたように感じています。どういふふうに変わってきたかと言ったら、いままでは何に對しても受身だったのに、この頃は自分から何かを身につけていきたい、人に伝えたいと思うことが多くなってきました。これは、すごい変化だと思いませんか。

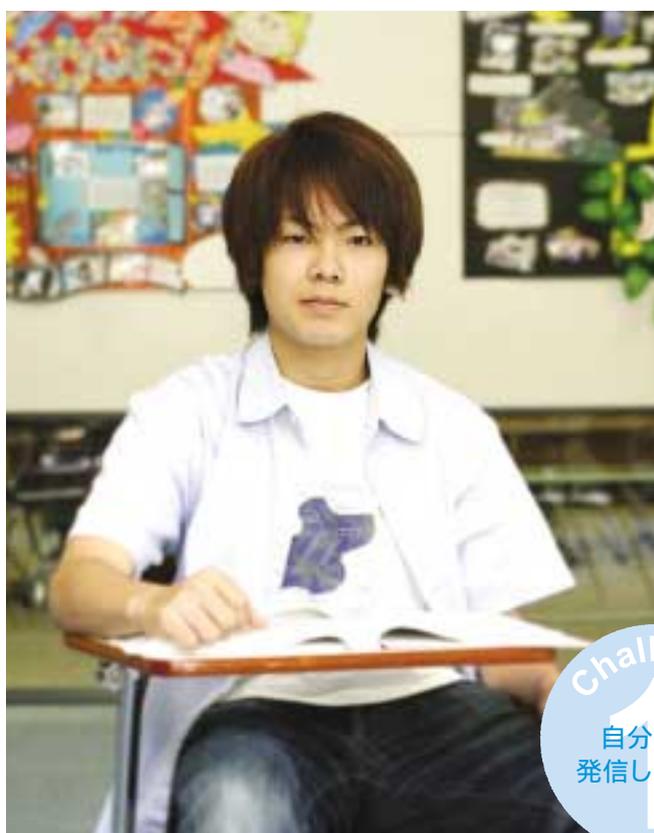
理由はやっぱり、EBA総合コースの独特なカリキュラムにあると思います。例えば、私が1年間講義を受けた中で一番興味深かった講義「フォーマルプレゼンテーション」など、いい例でしょう。

これはクラスのみならず3人くらい

に分かれて神戸や大阪の企業を訪問し、実際のビジネスを肌で学ぶ体験授業です。私は豆から加工食品をつくらせているメーカーを訪ね、そこで実施している衛生管理の徹底ぶりなどを見学してきました。メーカーが品質管理にどれだけ注意を払っているかはいつも加工食品を食べていたので、現場を見て自分の視野がグッと広がったように感じましたし、たくさんのお客さまから信頼を寄せられる企業として、プライドを持って仕事をしている様子には一人の人間として感銘を受けました。しかし、この授業が面白いと思った理由は、それだけではありません。

企業訪問が終わると、「企業訪問プロジェクト報告会」に向

自分から発信していく



柏井さんのオンリーワンをサポートするEBA総合コースとは?

ジェネラルな能力を持つ起業家リーダーの育成を目指す、経済学と経営学の両方を関連づけながら学ぶ、たく新しいカリキュラムを採用。また、2年次後期から1年間のアメリカ留学を実施したり、3・4年次には一線で活躍する企業人を招くワークショップ授業を行うなど、体験を重視した独自の学びにより、机上の理論に留まらない実践力を身につけていきます。

基礎学習 留学準備	1年次	前期 後期
海外学習 ニューヨーク州立大学 バッファロー校に留学	2年次	
錬成・展開 具体的なビジネス プランを構築	3年次	
	4年次	

6号館の完成でさらに充実! EBA総合コースのサポート施設



▲EBA講義室(642)

経済・経営分野の専門講義を行うのはこの教室。プロジェクターを利用したプレゼンテーションも行えます。



▲EBA講義室(643)

経済・経営分野のグループワーク用講義室。ノートパソコン(無線LAN)を使用した授業も可能です。



▲EBA演習室

17~18名の少人数授業を行う講義室。先生を囲むように机を並べ、密度の高い英語の授業が展開されています。



▲EBA自習室

EBA総合コース専用の自習室。ここでは講義終了後も遅くまで熱心に勉強する学生の姿が見られます。



▲ラウンジ

講義室のすぐ目の前にあるラウンジ。講義の合間の休み時間に学生同士や先生とのコミュニケーションが図れます。



▲EBA事務室

学生生活・留学についてのカウンセリングに対応。学生一人ひとりが安心して学べるよう万全のサポートを行います。



参加団体を募るため、小学校によさこいを教えるべくこももしばしば。街角でゲリラ的に踊り、広くPRするパフォーマンスも計画



“よさこい”で地域のみんなをつなげたい

文学部社会科学 3年次 花房 幸司さん



岡本商店街で告知チラシを配付。左手前が花房さん

Challenge 2
社会の中の自分を見つめる

私たちが実行委員を務めている「よさこい315」というイベントでは、東灘区を中心とする地域の3才から15才までの子どもたちが一堂に集まってグループごとによさこいを踊ります。よさこいとは、もともと高知県の伝統的なお祭りですが、10年ほど前に、自分たちで音楽から衣装、踊りまでを企画する「よさこい」が北海道で始まり、いまでは全国に広がりました。私たちのイベントも参加グループが自由に考えてきたよさこいを披露するとい

うスタイルで行っており、今年で二年目を迎えています。

参加者が3才から15才という、非常に限定されたイベントと知られるかも知れませんが、踊るのは子どもたちでも、サポートであり、観客でもある大人、そして企画・運営する私たち学生という関係者全員がこの「よさこい」イベントを通して交流し合える、世代や学校、地域を超えた、よりどころづくりを目指しています。最近では「ミニニケーション不足が原因と思われる事件が少なくありませんが、私たちは自分たちの住む地域からでもそんな状況を改善するために、何

かできることはないかと考えていました。そのとき岡本商店街の方からこの企画についてのお話があり、魅力を感じて、実際に運営していくこと決めました。

今年はこのイベントのために「紙ぶつせん」が作詞・作曲したオリジナル曲とそれに合わせた踊りもできました。目標動員人数は1000人。もう遊び気分ではできません。運営資金を集める渉外活動を行ったり、一人でも多くの人に参加してもらえよう徹底的に広報活動を行っています。決して楽ではありませんが、たまたま街で出会った小学生が「よさこいのお兄ちゃんだ!」と喜んでくれると、私たちの活動がしっかり地域の人をつないでいると感じられます。人々に「よさこい」を提供するこのイベントに、今年はもちろん、大学を卒業してからも関わり続けたいと思います。

よさこい315実行委員メンバー

- 委員長 花房 幸司(文3)
- 副委員長 石野 浩司(文3)
- 委員 中川 祐貴(文3)
- 丸尾 祐加(文3)
- 山田 浩司(文3)
- 上西 由起(文2)
- 岡崎 あゆみ(文2)
- 神沢 涼子(文2)
- 岸本 有希(文2)
- 楠田 奏子(文2)
- 小松 恵介(法2)
- 菟田 陽香(文2)
- 高松 亜弥(文2)
- 土佐 真穂(文2)
- 中山 智草(文2)
- 野村 泰一(文2)
- 長谷川 あゆみ(文2)
- 松田 千里(文2)
- 松本 真依(文2)
- 矢賀 千浩(文2)
- 水山 純(文1)
- 三宅 秀明(文1)
- 山口 奈緒(文1)
- 吉岡 紗希(文1)
- 若杉 佳子(文1)
- 渡辺 公美子(文1)

このほか、他大学の学生もメンバーとして参加しています

信念を曲げず、米国人スクールに合格

2001年度法学部卒 宮武 徹也さん

私は法学部に在学中から、英語を使って仕事をすることに興味があり、またどこかで他人と違うフィールドで勝負したいという気持ちもあり、卒業後、アメリカのロースクールに挑戦しました。

ただし、アメリカのロースクールに合格するには法学部を卒業しているだけでなく、実務経験が重要です。これはもう一つの必須条件であるTOEFLのスコアをクリアするため、卒業後は英語の勉強に集中したいと考えていた私にとって頭の痛い問題でした。仕事をしながら英語力を飛躍的に伸ばすことが、かなり難しいのは明らかでした。

そこで私はこの選択を迫られます。夢を諦めて、別の道を探るか。それともあくまで自分の道を進むのか。もちろん私が選んだのは後者、考え抜いた末、サンフランシスコにある弁護士会でのインターシッピングプログラムを見つけ、申し込むことにしました。渡米して現地で実務経験を積めば、英会話の訓練にもなるし、一石二鳥だと思いついたんです。

幸運にも弁護士会の会長がはるばる日本からの申込みに関心を抱いてくださり、私は以後、9カ月間にわたって電話の応答や所属している弁護士をクライアントに紹介する事務などに携われることになりました。英語もままならない、アメリカの法律もよくわからない、そんな状態でしたから、電話の相手に「うびどく怒られたこともありました(笑)。そのついで、英語力

を伸ばすため「ミニミニ」にも通っていたので、生活自体かなりハードでした。しかし、その努力の結果としてロースクールに合格することができたし、また一方では、甲南大の教授や現地の職場の仲間たちなど、周りの人たちが夢の実現のためにいろいろ力を貸してくださり、自分の意思をばきり示す大切さを実感することができました。これからはネイティブの学生に交じって講義を受け、ロースクール修了後にはアメリカの司法試験にも挑戦しなければなりません。自分を責め、自信も得たいまま、この先の道のりも乗り越えらると思えます。

Challenge 3
意志をつらぬく



初の女性委員長として、学生自治会を盛り上げる

理1学部情報システム学科 3年次 堀 由奈さん

自治会の活動って、なんとなく地味なイメージがありませんか。私も最初はよく知らなかったのですが、そんなイメージを持っていたのですが、友だちに誘われ、一昨年にアルバム作成委員会の小委員長となって以来、考え方が変わりました。この委員会では毎年卒業アルバムの一部である「企画ページ」を自分たちで考えて作成しています。どうやって卒業していく先輩たちに喜ばれるアルバムをつくるのかとみんなでいろいろアイデアを出し合って進めていくこの過程が、すごく充実していました。例えば、昨年度のアルバムでは卒業される方々にアンケートを行い、面白かった意見を抜粋しているのですが、質問項目も、「甲

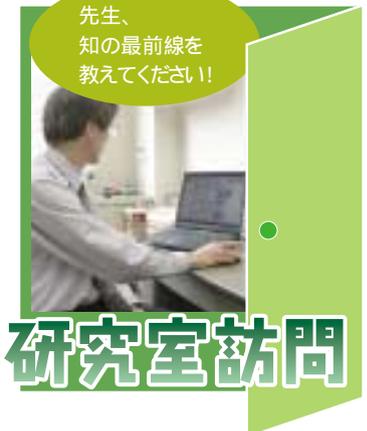
南の七不思議」とか、「よく利用したお店」とか少し工夫して学生時代を懐かしんでもらえる誌面づくりを心がけました。

今年からは立場が変わり、自治会中央委員会の委員長として自治会活動に携わっていきます。自治会初の女性委員長ということのでかなりの期待を受けているようですが、とりあえずやりたいことが二つあります。少し低迷気味の自治会活動を盛り上げるためにも、私を感じたようなみんなで協力して創り上げていく楽しさを入れたばかりの後輩にも伝えていきたい。そのためには、自治会中央委員会と各小委員会の連携を強めたり、先輩と後輩の絆を深めたり。そんな組織内の「ミニニケーション」をよりよくしていくことを考えています。

また、もちろん組織の外に対しても同じ想い。例えば、学費・奨学金検討委員会は甲南生の意見を集約して理事長・学長に届け、学費や学ぶ環境を改善していく組織ですから、みんながいい意見を寄せてくれれば、実際に学生生活をよりよくしていきます。ですから、学生全員に自治会の活動に興味を持って欲しい、たくさん意見を聞かせて欲しい。それで集まった力が何かを動かしていく面白さをみんなに感じて欲しいと思います。

Challenge 4
自分の体験を伝えていく





研究室訪問

先生、
知の最前線を
教えてください！

経済動向をリアルに予測する 研究分野、計量経済学

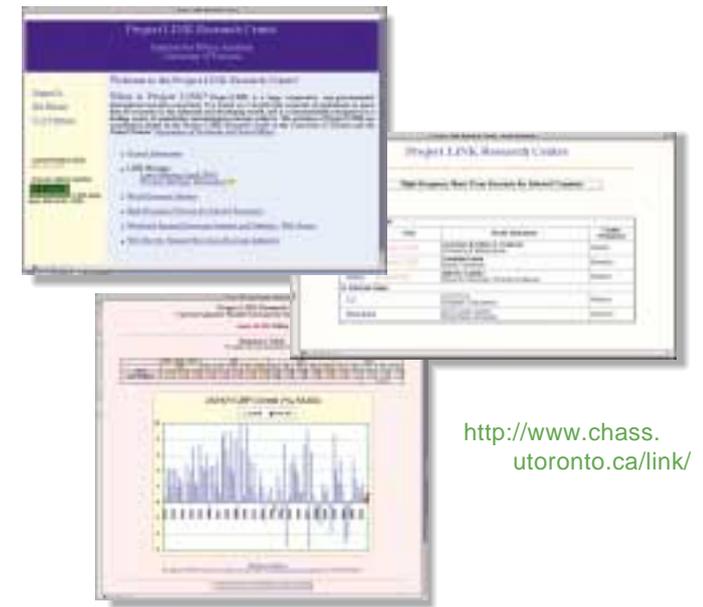
経済学を学んだことのある人なら、誰でも一度は理屈の上ではそうかもしれないけれど、現実の経済は理論通りに動いているのかな」と疑問を感じたことがあるだろう。確かに経済学の理論にはかなり抽象化された部分があるため、実際問題、必ずしも現実の経済現象にそぐわないという側面がある。では、経済学の理論とは、現実の経済の予測や分析には役立たないものなのだろうか。「もちろんそんなことはないよ」と経済学部の福田教授はその誤解をきっぱり否定する。「私の専攻している計量経済学とは、現実の経済の動きを表すデータ、理論を体現するモデルをつき合わせて分析する」とより、とすれば机上の理論になりがちな経済の動向分析を、現実に対応して行っていく学問です。中でも、とくに私が手掛けているのは、超短期予測モデルを用いてほぼリアルタイムで経済の変化を予測していくこと。この手法は、刻々と変化していく世界経済の状況を限りなく実際に近いレベルで把握することができるともいえます。」

超短期予測モデルによる結果を、 毎週ホームページにアップ

福田教授は実際、毎週、政府が発表している月次のデータをもとに、独自の超短期予測モデルを「日本の国際貢献の道を探して
超長期の予測モデルにも着手」

聞くところ、いまは超長期モデルの開発も手掛けているとのこと。福田教授、超短期と超長期と言えど同じ計量経済学のデータ予測ではあるものの、まったく種類の異なる分野。この研究に携わることになった理由を尋ねてみた。

「実はこれは内閣府からの依頼による共同研究に端を発したものです。皆さんもニュースなどで京都議定書のことにはなじみかと思いますが、いま日本では議定書に定められた4%のCO₂削減が事実上不可能となっています。いろいろ手は打たれていますが、日本の技術はすでに高く、燃料をエネルギーに換える効率が優れているため、劇的にCO₂を減らすことができません。しかし、議定書ではこうした場合を想定し、クリーン開発メカニズム(CDM)という制度が設けられています。いわば、自国のCO₂を減らす代わりに、他国のCO₂削減に貢献すれば、その削減分を国内努力としてカウントしようという特別措置です。このCMJがCMJの問題が出てくる。日本政府としては、ただの予算をかけてどこどこでどれだけ技術貢献をすれば、基準値を満たせる



<http://www.chass.utoronto.ca/link/>

用いて、日本経済の最新の経済動向を予測し、世界計量モデル開発者のコンソーシアムであるプロジェクトリンクのホームページにアップしているという。このホームページは、<http://www.chass.utoronto.ca/link/>であり、教授の師でもあるローレンス・クライン博士とともに、毎週情報を更新している。その綿密さと更新の素早さによって世界中のマーケットから注目を浴びている。

しかし、福田教授はなぜ、計量経済学のうちでも、超短期予測を手掛けているのだろうか。「以前は短期や、中期の経済予測を行っていたんですよ。それがいまはビジネスのスピードが増し、企業の財務も四半期ベースで行うようになってきていますから、エコノミストの間でも次第に四半期ベースすなわち超短期の経済予測に移り変わってきています。そのような背景があつて、私自身、自然に研究分野を超短期予測に移行していったという状況ですね。しかし、最近はずっと超短期の予測ばかりではないんですよ。」

のかといつ見通しが立たなければ、やむを得ず実施するわけにはいかないのです。そこで私を含む、数名のプロジェクトによって、温暖化の状況を予測するという取り組みがはじまりました。

研究の難易度は、当然高い。例えば、「これから中国がどんな経済成長を遂げていくのか、世界のエネルギー需要はどのように推移していくのか、超長期モデルによる予測の場合、このように多くのファクターを扱ったため、どうしても実際の誤差が大きくなるざるを得ない。そのため、ただ数値を放り込めば得られる結論が将来を表しているという単純なものではなく、結果をどういうシナリオとして読み取るかというセンスも要求されること。」

しかし、福田教授は「私たちがこの研究の成果を示すことで、日本政府は最適なオプションを選択できる。事実上、政策に貢献できるというやりがいがあります」と意欲を見せる。また、甲南大学では優れた研究を支援する、平生太郎基金科学研究奨励助成金によって、その後の取り組みを全面バックアップする構えだ。世界レベルで活躍する福田教授の研究が、日本の最適な国際貢献の道を開き明かしていく。その日もその日話ではないのだ。

稲田先生の研究を 読み解くキーワード

京都議定書

温暖化防止のための国際会議で議論されている国際協定のこと。1997年に京都で会議が開かれたときに、その大枠が決まったため、「京都」の文字が冠されることになった。

予測モデル

経済学の理論に基づいて作成された算出プログラム。実際の経済を示すさまざまな数値を代入することで、今後の動向を示すことができる。

平生太郎基金科学研究 奨励助成金

甲南大学の研究助成金の一つ。学園創立者平生太郎のご子息、太郎氏のご令室である故平生愛子氏から寄贈を受けた財産を用いて行っている。

conomic Analysis

稲田先生について、今回の研究について教えてください

国際共同研究に参加できることに、
大きな意義を感じています



神戸学院大学
経済学部 助教授
伴 ひかりさん

私も藤川先生と同様、福田先生の神戸大時代の後輩です。現在はチームで研究を進める中で、とくにデータの作成を担当しています。文科系の研究の場合、チームで研究することはこれまで少なかったのですが、最近では研究者の特徴を生かした共同研究が増えており、とくに今回の「環太平洋地域における環境問題」というテーマはグローバルかつ、多くの研究領域にまたがるテーマなので共同研究することに大きな意義を感じています。

韓国は京都議定書によって温暖化ガス削減目標を決められているわけではありませんが、環境問題には重大な関心を持っています。私はその一員として、地球環境問題の解決に韓国が果たせる役割を探る目的で、この研究に参加しました。福田先生と知り合ったのは、約10年前、小倉の国際東アジア研究センターでのことです。私が見る福田先生は、社会現象を数値的に分析することに非常に高い関心を持つ人、集中力が優れた人という印象があります。



産業研究院国家均衡発展研究センター
経済学博士 李 鎮勉さん

環境問題解決に韓国が果たせる役割とは？
先生との研究でその課題を追究しています

膨大なデータを集めて、
コンパクトな結果を出す
先生の研究スタイルには、
すごい熱意を感じます



経済学部 藤川 清史教授

福田先生は私にとっては、先輩であり、先生。もともと神戸大の同じ研究室で計量経済学の研究をしてきたのですが、縁あって二人とも甲南大学に来たいまも共同で研究に取り組むことが多いですね。福田先生のズバ抜けているところは、何といっても研究に対する熱意。どれだけ大量のデータをコンパクトな結果にまとめるかが私たち研究者の腕の見せどころなのですが、先生の場合は、例えて言えば、研究所単位の作業量を一人でこなされているようなものです。



今回のテーマは...
超短期から、超長期におよぶ経済予測の研究について

経済の動向は、 どのように予測 されているのか？

経済学部 稲田 義久 教授

神戸大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士(経済学)。ペンシルバニア大学留学時代に計量経済学のバイオニア、ローレンス・R・クライン博士に師事し、現在は独自に改良を重ねた超短期予測モデルを用いた予測で世界的に高い注目を浴びている。



テクノロジーを集結した語学教育の新ステーションが6号館に誕生!

2003年3月より、外国語教育と言語文化教育の中枢機関である国際言語文化センターの新たな拠点となった新6号館。マルチメディア教室やCALL教室など、外国語教育に最適な設備を整え、国際言語文化科目の講義にも活用されるこの施設を紹介します。

ビデオ、CD、海外のニュース...
あらゆる情報ソースで学ぶ

マルチメディア教室

11室あるマルチメディア教室すべてにカセットテープとMDの両方に対応できる学生用ブース40卓が設置されており、教員コンソール卓には、ビデオデッキ、DVD、MD、CD、カセットデッキ、書画カメラのほか、LANでつながれたコンピュータが備わっています。世界各国で製作されたVHSビデオソフト、ヨーロッパで製作されたDVDソフト(リリージョン番号2)が読み取れる機器があり、ほとんどの海外輸入ソフトをそのまま利用できます。

各教室には、高性能の大型液晶プロジェ



一人一台のコンピュータを使って
世界各国の言葉を学ぶ

CALL教室

CALLとはComputer Assisted Language Learningの略です。CALLには特別な科目があるわけではなく、コンピュータを利用して語学を学習することを意味します。甲南大学で開講されている英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語のライティング、リーディング、リスニング、スピーキングなどいろいろなクラスでCALL教室は利用されています。学内にはコンピュータが学生ブースに設置されている教室がたくさんありますが、語学の学習のために作られたのはこの6号館にあるCALL教室のみ。その特徴としては、学生ブース40席と教師用卓のコンピュータだけでなく、DVD、MD、CD、世界対応のビデオが使えるほか、CNN、BBCなどをライブ受信し、解像度の高いプロジェクターで、部屋を暗くしなくても大画面の映像を見ることができま

また従来のCALLの授業はCD-ROMなど既存の教材を使って個人で学習することが多かったのですが、この新しい教室ではネットワークを使えるので、ウェブサイトを教材に利用することができます。授業によっては自分のホームページを作ったり、テーマを決めて研究するのにインターネットを利用して、海外の大学の作ったサイトを利用してリスニングの練習をしたり、バリエーションが豊富です。



中級フランス語の講義

クターが1~2台設置されており、80インチのスクリーンに、ビデオ教材や外国映画のニュース記事などを使って学習を進めることが可能です。上級のクラスでは、海外のテレビニュースやラジオをライブで聞き取る授業も行っています。リスニングにせよ、リーディングにせよ、語学教材だけを聞いた学習で満足しては、本当の語学力はつきません。実生活で使われている「生きた言葉」、生きた情報に積極的に触れることにより、語学力のみならず、推定力、判断力も飛躍的に向上します。マルチメディア教室ではこのように外国語に必要な情報を読み取る力、ニュースなどを聞き取る力を着実に修得し、本当の語学力をつけるために効果を発揮します。

ひと足お先に6号館を

体験!

インターネットのサイトで音聞き取りの練習ができるのは驚きました。最新設備を備えたこの教室ではこれまでの英語とは少し違う学び方ができるので面白いです。ただ先生方も、まだ新しい設備に慣れておられないようで、使いこなすのが大変みだいですけど(笑)。これからも英語のリスニングの講義などを受けていきたいと思っています。

最新設備を活用したリスニングの授業が面白い!

文学部2年次 大越香織さん

教材をMDに保存できるから復習がしやすくなりました

文学部2年次 大西宏美さん

英語のリスニングの授業でCALL教室を利用しています。ヘッドホンで英語の映画のセリフを聞き、ナチュラルな発音などを学ぶ形式が一番多いのですが、この教室はパソコンが一人ひとりの机にあるので映像が見やすく便利です。いままではカセットテープにしかできなかった教材のダウンロードが、MDにもできるようにになったのもポイントだと思っています。復習がしやすくなりました。



ひと足お先に6号館を

体験!

映画やインターネットなどいろいろなメディアで学ぶと語学の世界が広がります

文学部2年次 近藤優実さん

私は中級フランス語1のクラスで6号館の1階のマルチメディア教室を利用しています。授業では大画面でフランス語のビデオ教材を見たり、フランス映画の一部を利用したりするほか、インターネットのフランス語のサイトから、関連する情報を検索して先生が大画面に写してくれるなど、フランス語をいろんな角度から学習できるのが嬉しいです。また、最新のラボを利用して、フランス語の聞き取りにくい微妙な発音も確実に聞き取ることができるようになり、会話もより自然に発音できるようになってきた気がします。また、フランス語検定のディクテーションの練習も、各自の目標の級に合わせて練習することもできるので、以前のように自分のレベルを他の人のレベルに無理に合わせる必要がなくなりました。このように、自分に合ったレベルの語学学習が可能で、世界の最新情報を皆と一緒に見て話し合えることができる設備は、私たちの学習意欲をかきたててくれます。この6号館ができて、以前よりいっそう授業が楽しくなりました。



マルチメディア教材が自由に使える

マルチメディア自習室



3階には、DVD、CD-ROM、カセットテープなどを活用して語学学習の自習ができるスペースを用意。教材ソフトも多数取りそろえ、学生の自主的な学習を支援しています。

開室時間/月~金 午前9時~午後4時
土 午前9時~正午
詳しい利用方法は、自習室に掲示してありますのでそちらをご確認ください。

留学生の学習スペースも設置

日本語教室

外国語を学ぶだけではなく、6号館には、留学生が日本語を学ぶための学習スペースも用意されています。



新しい教室ができたとき、留学がますます楽しくなりました。

文学部2年次 エレン 曹野さん



こちら甲南特搜部

今回の調査依頼

お便りで届いた皆さまの疑問を、毎回、徹底調査していくこのページ。今回はいまの社会を読み解くキーワードを甲南の教授にわかりやすく教えて欲しいというお便りをいただきましたので、これをピックアップし、法学部、理工学部の先生方お二人にお答えいただきました。

調査1

「目前に迫る「司法制度改革」一体、何がどう変わるの？」

いまの司法は制度疲労を起している。国民参加型で健全化を進めようという改革です

甲南大学法曹養成高等教育研究所長
法学部教授 渡辺 修



誌面作りに対する「ご意見・ご感想」

「オール甲南の集いに一度行ってみたいと思いつながら、連れがいないのでなかなか足が向きません。記事で楽しませていただきます。(82年卒・女)」

各地区の甲南同窓会の活動をもっと取り上げて欲しい。また、オール甲南の集いの開催内容をもっと早く各連絡事務所に伝えていただきたいと思えます。(61年卒)

私はいま子育て中ですが、埼玉に住んでおり、また就職したいと思ったときスムーズに手続きができそうなので、ネットワーク

キャンパス東京ができたことはぜひ覚えておきたいです。(学生・生徒のご父母)

いまの厳しい世の中ですが、特集記事を拝見し、甲南OBがバックで支える大きな力を感じ、勇気を持ちました。ますます大きな輪となるよう頑張りたいです。今後は各界で活躍している甲南卒業の女性などを紹介してもらえたらと思います。(73年卒・女)

日本の中心にある東京での甲南は？と思ついたので、特集のKONANに東京が興味深かったです。(学生・生徒のご父母)

バドミントンの素晴らしい先生がいらっしゃる息子から聞いていたので、研究室訪問の鶴木先生の記事を面白く読ませていただきました。六甲アイランドにあるグラウンドや体育会の活躍などについても教えてください。(学生・生徒のご父母)

今回からスタートした「こちら甲南特搜部」を興味深く拝見し、社会人の方で学んでおられる方々の思いに感動しました。息子が大学を受験しますので、学科別の特集があればと思います。(80年卒・男)

甲南フォーラムのような記事をいまままで待つていました。少し早めに出していただくスケジュールを合わせているんな講座に参加できるのでありがたいです。(95年卒・女)

誌面が大きくなり見やすくなりましたね。とくに甲南フォーラムは充実してすくなくならぬと思います。(学生・生徒のご父母)

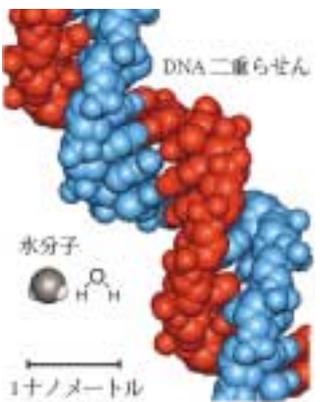
あなたの声で、このページを「つくりませんか？」
「こちら甲南特搜部」は皆さまのお便りをもとに構成するページです。日頃から甲南大学に対して感じていた疑問を、どしどしお寄せください。また、誌面作りに対する「ご意見・ご感想」もお待ちしております。

社会のキーワードをわかりやすく教えてください

調査2

「最近注目の「ナノテクノロジー」ってどんな技術なんですか？」

「ナノ」とは「10億分の1」を表す接頭語です。長さの単位でいえば、1ナノメートルは10億分の1メートルに相当し、原子や分子の大きさよりほんの少し大きく、DNAの幅や蛋白質の大きさと同程度の長さです。文献や教科書に記されている物質の性質(例えば融点や密度)は、原子や分子が極めて多量に集まってできた「大きなかたまり」が示す性質です。しかし、原子や分子が少しだけ集まってナノメートルの大きさの「小さなかたまり」になると、これはまったく違った性質を示す



ようになります。この「小さなかたまり」が示す不思議な性質や機能を利用する技術は「ナノテクノロジー」と呼ばれ、21世紀に最も発展するであろうと期待されている技術の一つです。



例えば、あらゆる生命体は、その機能がDNAや蛋白質などのナノサイズ物質により制御されており、ナノテクノロジーの集合体と言えます。この生体分子の機能を模倣して、DNAや蛋白質を並べたチップを使って一滴の血液から病気を診断したり、ナノサイズの小さなカプセル一つに薬を運ばせて治療することが現在の研究の中で現実味を帯びてきています。また、パソコンや携帯電話などの情報・通信機器は、ナノの10000倍の単位であるマイクロメートルの大きさの電子部品で構成されていますが、ナノテクノロジーが発展すればその大きさを1000分の1にでき、消費電力も格段

私たちの常識を根底から覆す10億分の1の世界
21世紀を変えると期待されています



理工学部機能分子化学科 講師 赤松 謙祐

に少なくともむよつになります。そう遠くない将来、パソコンのディスプレイが紙のような薄さで、本体がサイコロ程度の大きさで、さらに乾電池一本で何年も動作する日がやってくるかもしれません。「ナノ」はこれらの将来像を実現させ、我々の生活を豊かにする言葉として21世紀のキーワードとなるのではないのでしょうか。



甲南3学園合同学習

3校の生徒・児童が協力し、自分たちでつくる体験学習

甲南高等学校・中学校では、21世紀を支える子どもたちに豊かな心が育つことを願い、「人と人と自然、人と社会との共生」を目指す環境教育を進めています。2001年からは甲南女子中学校・高等学校、甲南小学校、幼稚園とともに文部科学省の「研究開発学校」の指定を受け、甲南大学・甲南女子大学の協力の下、一貫教育における環境教育のあり方や系統的カリキュラムについての研究開発を行うと共に、ビオトープの観察や作物栽培、地域の水質調査やCO2調べなど、さまざまな環境活動を展開してきましたが、今年はさらなる発展を計画。その一環として、3校の生徒・児童たちがプランを出し合っており、教師の主導ではない幅広い体験学習を行います。



本校の生徒自治会が作った活動計画の原案は、3校で意見交換を重ねた結果、より学習効果の高い内容としてまとめあげられ、いまは9月27日の実施に向けてラストスパルト。各班がリーダーを中心として準備を進めています。全体をまとめる役割を担うのが実施統括リーダーの岩佐君とサブリーダーの吉村さん。男子校・女子校とバックグラウンドは異なりますが、小学校もうまく巻き込んだ協力体制を作り上げています。ここでは活動計画と二人の意気込みを紹介します。

▲ほかの取り組みに先駆け、8月3日に行われた「芦屋サマーカーニバル」の様子

合同学習の具体的な内容

児童・生徒はいずれかの班に分かれて体験学習を行い、11月14日の「甲南3学園主催研究開発学校研究発表会」で結果を報告する。

社会班別学習		環境班別学習		福祉班別学習	
「芦屋市秋祭り」班	「芦屋サマーカーニバル」班	「水」班	「空気」班	「保育所」班	「老人介護施設」班
集落別の地車を引かせてもらい、秋祭りに参加。また、それぞれに地車の歴史を調べる。	祭り実行委員のお手伝いをさせてもらい、祭りがどのように運営されているのかを調べる。	科学博物館や兵庫県営水道局などを見学し、水道水の水質やその経路について調べる。	芦屋市、東灘区内のさまざまなポイントで空気の汚染度を調査。計30カ所を計測する。	西宮市の保育所を訪問。割り箸、鉄砲、ペットボトル、ケットなどの工作で園児と触れ合う。	芦屋市の医療法人や病院を訪問し、車椅子での散歩や折り紙などで老人と触れ合う。

合同学習実現への意気込みを教えてください。

授業ではできない取り組みに自治会として挑戦！

3 学園の生徒・児童が協力して自分たちで体験学習を行うのはこれまでにならぬこと。僕たちはこの貴重な活動を成功させるため、参加する一人ひとりに、これが自分の活動だという意識を持ってもらい、また授業のように誰かに言われて参加するのではなく、生徒・児童が自主的に取り組んで欲しいと考えています。とにかくみんなの意見を聞くようにしているのはそんな思いから。今回の活動が環境の枠を超えて幅広いものになったのも実際に参加する生徒の意見がきっかけでした。最初は全校生徒の参加を計画したものの、安全面への配慮から規模を小さくするなど、思いつくようにいかない部分もありますが、みんながアイデアを出し合っており、少しずつ現実的なプランが出来上がっています。いまはその手応えを感じています。

みんなが成長できるチャンス。絶対私たちの手で成功させたい。

この話が持ち上がったときぜひ実現させたいと思いました。私は以前保育所のボランティアに参加したことがあります。そのときに、小さい子どもとの接し方など、頭で理解しているつもりでも実際に体験してみればじめてわかることもたくさんあると気がつきました。今回の取り組みは、みんながそんな体験を通して、自分を一歩成長させられるチャンス。また、自然環境に範囲を狭めるのではなく、私たちの地元へ目を向けたり、縦割り班で小学生と一緒に取り組むことは、より貴重な体験だと思えます。協力し合って、なんとか自分たちの手で成功させたいです。



吉村 可奈さん
甲南女子高等学校 2年生
実施統括サブリーダー



岩佐 嘉久君
甲南高等学校 2年生
実施統括リーダー

クサナールの子どもたちに学校を！
アフリカの姉妹都市を生徒が支援

学校のあるサン・シール市とセネガルのクサナールは、パリ・ダカルラリーをきっかけに、姉妹都市となった。それ以来、サン・シール市は町を挙げてクサナールを支援している。その中でも目立つのが、古い眼鏡を送るという活動である。

度数が合わなくなったりして家庭で眠っている古い眼鏡を回収し、サン・シール市在住の眼鏡店の主人が汚れを落とし、調整を行い、レンズの分類を行って、1個2000円で現地の人たちに販売し、その収益をクサナールに寄付している。寄付されたお金は子どもたちの教材や教員、食料の購入に当

てられる。クサナールでは、栄養状態が思わしくなく、また、埃のため目を痛める人が多いという。しかしながら、クサナールには眼鏡を扱う店もなく、一番近くても450キロ離れたダカルまで行く必要がある。そこで、現地を視察したサン・シール市の関係者が、検査を行った上で適切な眼鏡を着用してもらいたいと思い、このようなボランティア活動を始めたということだ。

トゥレーヌ甲南学園の理事でもあるタフニエ元サン・シール市筆頭助役は、最初からこの運動にかかわっており、トゥレーヌの生徒たちも使わなくなった眼鏡を集め、運動を積極的に支援してきた。そのほか、生徒たちは、バザーを行った収益でもちやを贈ったりした。今年度より生徒たちは、クサナールに学校を建てるためのボランティア団体を立ち上げて、活動を開始した。また、8月には神戸新聞の協力で古い眼鏡を日本でも回収する活動を行った。こうした生徒たちの活動は、8月21日の神戸新聞にも掲載された。



8月21日神戸新聞(夕刊)

さらに、2004年1月には、サン・シール市の使節団の一行とともに10名のトゥレーヌ又生も現地を訪問する予定である。日本ともフランスとも全く異なつたアフリカの文化に触れることで生徒たちの視野はますます広がっていくと見込んでいる。10名の使節団の



バザーの収益で購入したおもちゃを、ダブニエ氏(右端)に話す生徒会代表

梓に、現在50名の生徒が希望を出しており、これから校内で選考を行う必要がある。生徒たちの熱い思いに教職員もうれしい悲鳴である。

田中学校長は、クサナール訪問について、次のように述べている。

アフリカ社会に触れる希少な体験で日本では気づかないことを感じてほしい

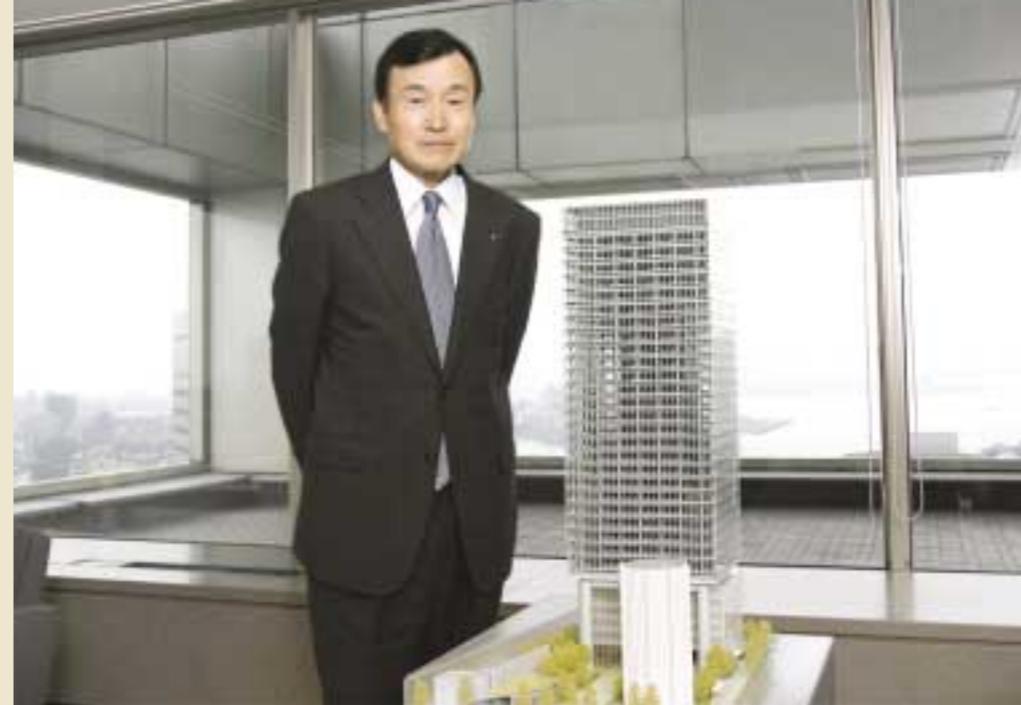
田中 昭校長

日本の中学・高校生がアフリカ社会に直接に触れるということは、めったにできない体験だと思います。幸い、トゥレーヌ甲南学園のあるサン・シール市が、セネガルのクサナール市と姉妹都市関係にあることから、今回本校が生徒が現地に赴き、地元の人たちと交流を図る機会が得られました。本校では、総合学習の一環で、発展途上国の教育事情を学ぶグループもあり、今回のクサナール訪問はそういう意味でも収穫の多いものになると思います。物の溢れる日本で育つ子どもたちが、一本の鉛筆、一つのメガネがいかに大切で貴重なものかを実感し、しっかりと心に刻んでいくことを願っています。

業界に先駆けた技術を積極的に取り入れる竹中工務店。今回はその現社長を務める竹中統一さんにインタビュー。国際的な活躍を続け、会社の発展を一手に担う竹中さんの大学時代、これまでの経緯についてお話をいただきました。

登山で培ったチャレンジ精神は いまも変わらず

竹中統一さん 1965年経済学部卒業



PROFILE / 1965年に甲南大学経済学部を卒業後、竹中工務店に入社。その後、米国ミシガン州立大学・大学院経営学部修士課程修了を経て、帰国後、大阪万博のパビリオン建設に携わる。1980年に竹中工務店の社長に就任。国内外問わず、先進技術の導入を積極的に試みるなど、事業拡大を目指し、現在に至る。

甲南大学卒業後、竹中工務店に入社したものの、急速な国際化の波を感じていたため渡米を決意しました。ミシガン州立大学大学院に留学し、語学学習にも努めながらMBAを取得し、帰国以降、大阪万博を皮切りに、現在まで多くのプロジェクトを手掛けてきました。

忘れられないのはやはり、初めて携わった国際的なイベントである大阪万博です。このときは弊社が全パビリオンの4分の1をも請負わせていただいたため、とにかく繁忙を極めていました。しかし英語を満足に話せる日本人がごく僅かで、各国の責任者と話すには、逐一通訳に頼るといった煩わしさ。私は留学経験を活かして奔走したのをよく覚えています。

1980年に社長に就任しましたが、まだ30代後半であったため、年上のお客さまと仕事を進めることが多く、正直言って戸惑いの連続でした。ただ、常にチャレンジ精神を持ち誠実さを心がけることで、お客さまの信頼につながるよう努力しました。とくに1988年に日本初の空気膜構造スタジアム「東京ドーム」を無事引き渡すことができたことは大きな自信になりました。アメリカではすでに類似の実施例が数例あったものの、国内では前例がなく実にさま

ざまな障壁がありました。海外視察に何度も足を運んだり、施工の確実性や法規制をクリアするために耐風や耐震といった構造実験を繰り返したり。竣工時の感動は今も鮮明に残っています。その後、開閉式屋根の「福岡ドーム」を始め多くのドーム型競技場の建設に携わることができたのも、東京ドーム計画での経験、ノウハウが財産として活かされたからだと思っています。入社して40年近く、多くの新しいこと、困難なことに挑戦し続けてこられたのは、大学時代に打ち込んだ山岳部での活動の影響も大きいと思っています。非常に厳しい部活動でしたが、その中で自然の怖さを知り、またチャレンジ精神や忍耐強さを身につけることができたのだろと思っています。今も時々、当時の仲間と山頂を目指しがんばっています。

また登山と建築の共通点はチームワーク。どちらも一人だけで達成することは困難です。甲南は自由で、人と人との関わり合いを大切にしている学校ですから、私はそこでもチームワークを育むことができ、いまに活かすことができました。現役の甲南生たちにも、そんな校風や、海外交流、語学習得に充実した環境などを存分に活かして欲しいと思います。

卒業生 TOPICS

甲南OBの著書をピックアップ!



思春期の危機と子育て
前村 よう子 著
1986年文学部卒業
三学出版 ¥952(税別)



友岡子郷 自解150句選
友岡 清 著
1958年文学部卒業
北漢社 ¥1,810(税別)

甲南フォーラム KONAN FORUM

ダイジェスト

第132回現代講座は、金子達仁氏「これからの日本サッカーの課題と展望」

自治会中央委員会現代講座委員会が主体となり、各界で活躍している著名な方をお招きし、開催する現代講座。5月24日に行われた132回目の講座では、スポーツライターである金子達仁氏を講師にお招きし、世界各国のサッカーリーグや選手、交流のある競馬騎手についてお話ししていただきました。講演後も、フロアから次々と質問が寄せられ、講師の日本のサッカーへの想いが熱く語られました。講演会終了後は、現代講座委員である学生たちとこやかに雰囲気茶話会が行われました。



体育会ゴルフ部が秋の日米対抗戦の出場資格を獲得

北広島プリンスゴルフ場(北海道)で、6月18日と19日に開催された全日本大学学校対抗戦で、体育会ゴルフ部は7位になり、2003 TOPY CUP日米対抗ゴルフ選手権の出場資格を獲得しました。この選手権は、日本学生ゴルフ連盟と読売新聞社が主催し、9月9日から11日までの3日間、福島県の棚倉倉倉倶楽部で開催されます。



鎌谷勇宏さん(理4)、谷崎義文さん(経済4)、吉田泰典さん(経営3)、岩元洋祐さん(文2)、高田和貴さん(経済2)の5名が日本学生ゴルフ連盟から派遣依頼を受け、選手権に出場することになりました。

体育会サッカー部 甲南・学習院定期戦50回記念大会

第50回の節目を迎えた甲南大学・学習院大学サッカー定期戦(神戸新聞社など後援)が7月13日、神戸ウイングスタジアムで開催され、午前中にB戦と60歳以上、40歳以上、39歳以下の各年代で対戦するOB戦が行われました。午後からは記念セレモニーの後、半世紀の歴史を刻んできた伝統の一戦がキックオフ、今期関西学生リーグで一部復帰を果たした甲南が4-0で快勝しました。当日は激しい雨が降りましたが、可動式の屋根を開けたウイング内では約1,200人の観客が、力一杯両大学の選手を応援しました。



大学院人文科学研究科 人間科学専攻の 第一種指定が継続承認

本学の大学院人文科学研究科人間科学専攻は、日本臨床心理士資格認定協会から、第一

種指定を受けています。第一種に指定された修士課程を修了すると、修了と同時に臨床心理士の受験資格を得ることができます。今年はこちらで第1期生が修了し、25名が合格しました。2004年度以降も第一種の指定を継続できるよう申請したところ、向こう4年間の指定が承認されました。

『夏の思い出・陸上教室』開催

7月31日、本学六甲アイランド陸上競技場で、伊東浩司専任講師による中学・高校生を対象とした陸上教室が開催され、約250名の生徒が参加しました。伊東先生の指導を目当てに、遠くは愛知県からの参加者もありました。終了後のアンケートでは、9割以上の参加者が、次回このような教室が開催されればぜひとも参加したいとの回答があり、時間が足りなかった、大学生の人が優しく細かいところまで教えてくれたよかった、伊東先生の質問コーナーがあればよかったなどの意見が寄せられました。



オープンキャンパス開催

7月31日、甲南大学でオープンキャンパスが行われました。昨年度に引き続き、学内のスタンブライヤ、入試概要説明会、英語入試問題講座、ミニ講義などが行われました。3千人近くの参加者があり、遠くは、北海道、埼玉、福井、愛知、静岡、高知、山口、福岡からもお越しいただきました。「愛知県から来ましたが、来たかいたが、個別相談コーナーで熱心に教えていただいてうれしかったです。」在校生のみならず、ご家族もご参加いただきました。

- 竹中さんの甲友録
- 八木 雄三さん 64年経済学部卒業 八木通商(株)社長
- 西尾 忠朋さん 65年経済学部卒業 (株)西尾倉庫社長
- 藤井 浩さん 67年文学部卒業 新晃工業(株)社長

新刊レビュー



全世界紀行
民族と歴史、そして冒険
南里 章二 著
〔高・中 社会担当 / 山岳部OB〕著
ナカニシヤ出版 ¥2,700(税別)



制度としての監査システム
監査の経済的機能と役割
伊豫田 隆俊(経済学部教授)著
同文館出版 ¥4,000(税別)



会社じんるい学 PART
廣山 謙介(経営学部教授)共著
東方出版 ¥1,700(税別)



古代日本の塩
廣山 謙介(経営学部教授)共著
雄山閣 ¥3,800(税別)



対中ビジネスの経営戦略
〔中堅・中小企業への提言〕
藤川 清史(経済学部教授)共著
蒼蒼社 ¥2,800(税別)



ふしぎの植物学
田中 修(理工学部教授)著
中公新書 ¥760(税別)

高等学校文芸部が
第6回俳句甲子園全国大会に出場

高等学校文芸部が、2003年8月15日から17日に松山市で開催された第6回俳句甲子園全国大会に出場しました。地方大会を勝ち抜いた10校と投句審査による出場校14校の計24校で、1チーム5人のトーナメント形式で争い、4位になりました。



俳句甲子園の詳細については、左記のURLを参照ください。
<http://www.haikukoushien.com/>

新井初佳さん(98年卒)が
世界陸上に出場

8月23日から31日の9日間、フランスパリで開催された、第9回世界陸上競技選手権大会に、新井初佳さん(98年文学部卒)がフジモト(日本代表選手)に選ばれ、29日に行われた4x100メートルリレーに出場しました。

この世界陸上には、伊東浩司専任講師も、TBSの解説者として出演し、主として、トラック競技短距離・中距離・障害)について解説しました。

夢化学21 甲南大学理工学部
一日体験化学教室

甲南大学理工学部機能分子化学科では、一般の高校生に、身近な化学から最先端研究まで、実際に体験してもらい、ことを目的として、一日体験化学教室を開催しました。「電子顕微鏡を使ってナノの世界を観察してみよう」、「割れやすいガラスを強くしてみよう」など、割れやすいガラスを強くしてみよう。

父母の会講演会

大学父母の会では、在校生の保護者を対象として次のおり講演会を行います。高校生や中学生の保護者の方や卒業生の方も歓迎いたします。(参加自由)

- 【日時】11月22日(土)13時~14時30分頃
- 【場所】142講義室
- 【テーマ】わが子との話を聞いた
- 【講師】桑原知子氏(京都大学大学院教育学研究科助教 教育学博士、臨床心理士)

貴志康一コンサート
当選者発表

10月10日に神戸新聞松方ホールで開催される貴志康一コンサート招待券プレゼントは、次の方が当選されました。おめでとうございます。

- 浅尾友子さん(73卒) / 石黒正人さん(70卒)
- 今泉好彦さん(78卒) / 大西純子さん(96卒)
- 奥田慶子さん(75卒) / 椎尾昌布さん(61卒)
- 末政孝子さん(父) / 高木広光さん(68卒)
- 辰馬市朗さん(51卒) / 中尾善知さん(74卒)
- 中村節子さん(父) / 浜田美千代さん(父)
- 原田洋平さん(01卒) / 見取あかねさん(94卒)
- 箕浦隆雄さん(71卒)

就職カレンダー

- 10月
 - 第2回就職ガイダンス(1日、2日、3日)
 - 3年次父母対象就職説明会(4日)
 - エントリーシート対策講座(6日、7日、9日、10日)
 - SPI試験(14日、17日)
 - 企業分析講座(20日、21日、23日、24日)
 - 女子学生向けセクスタップ講座(24日、27日、28日、29日、30日)
 - 面接マナー講座(31日)

- 11月
 - 面接マナー講座(4日、6日、7日)
 - SPI模試フォロー講座(10日、11日、13日、14日)
 - 公務員採用ガイダンス(中旬)
 - 第3回就職ガイダンス(25日、26日、27日、28日)

- 12月
 - 第3回就職ガイダンス(1日)
 - 業界別就職活動報告会(2日、3日、4日、5日)
 - OB・OG懇談会(6日)
 - 3年次生登録票の提出(10日、11日、12日)
 - SPI試験(17日)
 - 公務員・教員合格報告会(中旬)

詳細はお問い合わせください。
<http://lawschool-konan.jp/>

学費	
入学金	30万円 入学時徴収
施設設備費	20万円 毎年度徴収
授業料	1年次 110万円 2年次 160万円 3年次 160万円

成績に応じて、学費の免除と減額を行います。奨学金の充実を計画中です。

一般入試	
日程	【第1次募集】募集約40名 2004年1月10日(土)・11日(日) 【第2次募集】募集約20名 2004年2月28日(土)・29日(日)
日程	【第1日目】小論文[全員] 専門論文試験(憲法)法学既修者を希望する者 【第2日目】専門論文試験(民法・刑法)法学既修者を希望する者
試験内容	法学未修者 小論文 法学既修者 小論文 専門論文試験

日弁連法務研究財団の実施する「法科大学院法学既修者試験」の申込みは、2003年9月9日(火)~10月15日(水)16日(木)消印有効。試験日は11月16日(日)です。法学既修者としての入学を希望する場合は、必ず受験しなければなりませんので、ご注意ください。

法科大学院の一般入試について(予定)

2004年4月開講予定の法科大学院の入試日程などは次のとおりです。



つ、水資源をきれいにする高分子を合成しよう」など、魅力ある6つのテーマを取り上げ、高校生の皆さんに案内したところ、50名の定員を上回る約80名の応募がありました。中には、引率ではなく、生徒と一緒に実験を体験したいと、中学や高校の先生方からも申込みがありました。8月23日の午前10時から、申込みのあった全員に参加していただき、理工学部教員や大学院生と一緒に実験を行い、参加者からは、「実際に実験を体験できて楽しかった」、「機会があればまた参加したい」などの意見が寄せられ好評を博しました。

11月に同窓会総会を開催

甲南学園同窓会・甲南大学同窓会は、来る11月22日(土)・甲南大学岡本キャンパスにおいて、平成15年度同窓会総会を開催する予定です。当日は、大学祭が開催されており、在学生の課外活動状況等を目的に当り、在学生の参観の機会です。同窓会総会および懇親会等の詳細は、10月上旬発行予定の同窓会誌「甲窓」にて掲載されます。多数のみなさまのお越しをお待ちいたしております。

2004年度一般入試日程

願書希望される方は、同封のアンケートハガキでお申し込みください(無料)

入試制度	A 日程					B日程	B日程 C方式	B日程 S方式	C 日程	D 日程		
試験日	2月1日(日)	2月2日(月)	2月3日(火)	2月4日(水)	2月5日(木)	2月8日(日)	1月17日(土)・18日(日) 大学入試センター試験 B日程(文系学部) 2月8日(日)	2月8日(日)	1月17日(土)・18日(日) 大学入試センター試験 2次試験は課しません 2次試験 3月11日(木)	3月7日(日)		
学部	経済学部 法学部	文学部 経営学部	経済学部 法学部	文学部 経営学部	理工学部	全学部	法学部	理工学部 (物理学科・ 情報システム工学科)	文・経済・法・ 経営学部	理工学部	文・経済・法・ 経営学部 (物理学科・ 情報システム工学科)	理工学部
試験地	神戸・京都・大阪・岡山・広島・高松					神戸・東京・名古屋・京都・大阪・岡山・広島・福岡・高松・松山		—	神戸(本学)	神戸(本学) 名古屋・岡山	神戸(本学)	
出願期間	郵送出願 1月5日(月)~22日(木)消印有効 窓口出願 1月23日(金)・24日(土)	郵送出願 1月5日(月)~26日(月)消印有効 窓口出願 1月27日(火)・28日(水)					郵送出願 1月5日(月)~26日(月)消印有効 窓口出願 1月27日(火)・28日(水)		郵送出願 2月16日(月)~26日(木)消印有効 窓口出願 2月27日(金)	郵送出願 2月16日(月)~26日(木)消印有効 窓口出願 2月27日(金)		
合格発表	2月14日(土)					2月14日(土)		3月14日(日)		3月14日(日)		
入学手続期間	第1次: 2月16日(月)~20日(金)					第2次: 3月15日(月)~24日(水)		一括: 3月15日(月)~24日(水)		一括: 3月15日(月)~24日(水)		

学費(大学・大学院)の特別猶予願について

家計の事情などにより期限内に学費の納入が困難な場合は、学費猶予制度を利用することができます。申し込みは原則として保証人が申し出ることにしていますが、都合の悪い場合は、学生本人でも構いません。猶予を希望される方は、学生部厚生係で、学費特別猶予願の用紙を交付してもらって、申請してください。提出期限は左記のとおりです。

期間・期限	前期分	後期分
特別猶予願 願書提出期間	5月1日~5月31日	10月1日~10月31日
特別猶予願 猶予期限	9月10日	翌年1月10日

注1/上記期限を超えての再猶予は認められません。
注2/上記の猶予期限内に学費を納入しない場合は、「除籍」になりますので、注意してください。

あなたのお店を甲南Todayに載せませんか

「グルメ甲南 in 京都」掲載店大募集!

次号の甲南Today No.16では、卒業生や在学生のご父母が営む飲食店を紹介する人気企画「グルメ甲南」を掲載します。今回の紹介エリアは京都。古都、京都にお店を構えておられる方で、掲載を希望される方は、下記電話番号まで10月15日までにご連絡ください。

応募の受け付けはこちら
甲南学園広報部 TEL 078-435-2314
なお、応募多数の場合は、掲載のご希望に添えない場合がございますのであらかじめご了承ください。

甲南大学の教員が執筆した
新刊レビュー



母と子の心理療法
松尾 恒子(名誉教授)編
創元社 ¥2,500(税別)



心の危機と臨床の知 1
トラウマの表象と主体
森 茂起(文学部教授)編
新曜社 ¥2,900(税別)



心の危機と臨床の知 2
現代人と母性
松尾 恒子(名誉教授)編
高石 恭子(文学部教授)編
新曜社 ¥2,900(税別)



心の危機と臨床の知 3
リアリティの変容?
斧谷 彌守一(文学部教授)編
新曜社 ¥2,900(税別)



心の危機と臨床の知 4
心理療法
言葉/イメージ/宗教性
横山 博(文学部教授)編
新曜社 ¥3,400(税別)

EVENT SCHEDULE

- 10月
 - スポーツ推薦入試: 甲南高校・トリーヌ甲南学園高等部基礎学力試験(4日)
 - EBA総合コース特別入試A方式(25日)
- 11月
 - 経営学部高等学校商学科推薦入試: 編入試験、社会人特別選抜入試(経・法・営)(1日)
 - EBA総合コース特別入試B方式(1次)(15日)
 - 帰国子女入試(15日)
 - 第39回摂津祭(20・24日)
 - オープンキャンパス(22日)
 - 大学教育懇談会(四国地区)(23日)
 - EBA総合コース特別入試B方式(2次)(29日)
- 12月
 - 第48回甲南大学対学宮院大学運動競技総合定期戦開会式(13日)
 - 総合定期戦閉会式(13日)
 - 体育会リリークスキャン(中旬)
 - 講義(最終)(22日)
 - 冬期休業(23日)~2004年1月4日

編集後記

他人の上をいくために必死になるのではなく、あくまで自分を表現するために努力する。今回の特集ではそんなオンラインを目指す甲南生や卒業生の姿を紹介しましたが、いかがでしたか。彼らと同じように熱くなった経験は、きっと皆さまの中にもあるのではないでしょうか。本誌ではこれからも、ただ学園のコースをお伝えしてだけでなく、いまも昔も変わらない甲南の気質に迫る特集を組んでいきます。ご期待ください。

次号予告(2003年12月発行予定)

Network Konan
つながる!甲南ネットワーク
卒業生に聞く
憧れの職業への道

甲南Today No.15

発行日/2003年9月25日
発行/甲南学園広報部
〒658 8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1
TEL(078)431 4341(代)
印刷/大日本印刷株式会社